

研究課題名	処方箋の表記の違いによる腎機能に応じた用量調節に関連する疑義照会の件数の変化
試料・情報の利用目的・ 利用方法（他機関へ提 供する場合その方法）	腎機能が低下した患者では、腎排泄型薬剤の血中濃度が上昇し、副作用のリスクが高まるため、用量調整が必要となります。本研究では、処方箋に腎機能に注意すべき薬剤名に【腎】と表記する方法と、カルテ情報から自動計算されたクレアチニンクリアランスを処方箋に表示する方法が、薬剤師の調剤業務に与える影響を比較検討しました。
研究対象者	2024 年 2 月 1 日～5 月 31 日および 2025 年 2 月 1 日～5 月 31 日に当院にご入院の方
利用又は提供する試 料・情報の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：生年月日、性別、身長、体重、血清クレアチニン値、薬歴
研究予定期間	機関の長の実施許可日 2025 年 8 月 29 日 ～ 2026 年 2 月 15 日
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者 の範囲	この研究は泉大津急性期メディカルセンターで行います
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又 は機関の名称	泉大津急性期メディカルセンター 薬剤部 氏名：西村 紗耶子
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはございません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	泉大津急性期メディカルセンター 薬剤部 氏名：西村 紗耶子 〒595-0031 大阪府泉大津市我孫子 97 番 1 TEL：0570-02-1199